

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 26回目

戦国時代から、信長の天下統一に至るところのお話です。織田信長はルイス・フロイス(ポルトガルのカトリック司祭、宣教師。イエズス会士として戦国時代の日本で宣教し、織田信長や豊臣秀吉らと会見)によれば「信長は来世を信じない現実主義者である。神や仏という形而上の存在を無視した。…」と。でも、石清水八幡宮への金銅樋の寄進も含めてそうは見えない。1579年八幡宮の使者が信長に「木製の樋が腐って雨漏りしている」と修築を願い出たという。修理はかない大がかりなものだったようです。その樋が今でも健在です。その時に築地堀も作られた。

- ① 日時 2020年12月17日(木) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴26回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



(石清水八幡宮 信長の金銅樋 ネットより)

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。